昭和37年9月1日発行　第100号

広報つやま

発行 津山市役所　印刷所 美作印刷工業株式会社
編集 総務課広報係　19.000部 市内全戸に配布

ここをとじて保存してください

一〇〇号を迎えた広報つやま

「広報つやま」は本号で一〇〇号をむかえました。今日までこの「広報つやま」をいつくしみ、はぐくんでくださいました市民の皆さんに心から感謝します。なにぶんにも限られた紙面と回数ですから、十分にその使命を果しますことは困難ですがこの一〇〇号を期して、一段の努力をいたします。市民の方々の温かい御指導と御協力をお願いします。

9月の農事メモ

【いね】台風対策に畦畔を補修し深水にする。成熟期のものはハシゴなどで押し倒しておくと被害が少ない倒伏したものは起して五六株づつ軽く結束する。いもち病の防除には穂孕期、出穂開花の二回、または穂孕期二回水銀剤を散布する。

【そさい】台風対策にトマト、胡爪、茄子、ピーマンは支柱を補強、整枝摘果を行ない、茄子は防風垣を設ける、大根は培土を充分に白菜は間引きを控える。いずれも薬剤散布を忘れなく雨台風の場合は排水に努める。

【畜産】今月から十月にかけて共進会がある。蹄を切って調教を十分に。点燈養鶏は九月中旬から始めるが、朝四時頃からの早朝点燈がよい。早期稲跡の飼料作物は年内刈取が出来るのでイタリアングラス、青刈とうもろこし、青刈えんばく、家畜カブが適当、牧草の秋播きも月一杯に終る。

【果樹】梨の収穫期であるが同時に石灰ボルドー液でコクハン病、クロホシ病ウドンコ病の防除に努める
露地ぶどうは密植園について間伐を断行する。その他桃、みかんの芽接、根接の適期でもある。緑肥播種の適期である。

〃しのびよる秋のけはい〃

9月のこよみ

日	月	火	水	木	金	土
―	―	―	―	―	―	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

9月のことば

草むらですだく虫の声にも、しのび寄る秋の気配をしみじみと感じます。しかし残暑はきびしく、陽盛りはまだまだ大変です。いよいよ忙がしくなる農家の方々を初め、戸外労働の皆さんは十分に身体に気をつけてください。

しかし、気候は良くなるばかりだし、食物は美味しく、大自然の風景は澄んだ大空のもと、清々しさを増して来ます。一年のうちで一番よいシーズンを迎えるわけですから、市民の皆さん元気をだして、あらゆる方面に頑張っていただきましょう。

とくに、学生、生徒の諸君は、夏休みも終って、勉学に最適の季節を迎えているのです。「燈下したしむべき秋」でもあります。うんと実力を養って、やがて来るべき進学試験に、また就職の前途に悔(く)いを残さぬようにしましょう。と言ってガリ勉をすすめているのではありません。「リクリエーション」の秋でもあります。「よく学びよく遊ぶ」ことが肝要です。

今年の秋は、また「国体の秋」でもあります。準備万端よろしいでしょうか。「歴史をつくる国体」ですこの歴史的な行事にいささかでも汚点を残すことのないよう全市民の皆さんと共に努力しましょう。

県南開発広域都市と津山

どのような関係があるか
立遅れぬように機会を促えよう

本号の「市民の声」に某「地方議員」の方から「作北の存在を主張せよ」との投書をいただきましたが、そのなかに「県南の工業開発や百万都市建設の問題も作北としては無視し得ないから、これも採りあげ、作北として対処すべき方向づけをせよ」との御趣旨も感じられましたので、特に本号は県南の開発、建設の問題と津山を中心とする作北の関係にスポットをあて当面するいろいろな問題を解説しましょう。

県では昭和〇〇〇年度を目標として農業県から工業県への県勢振興計画を樹立していますが、その中心は岡山市の岡南地区、倉敷市の水島地区を軸として、石油、鉄鋼、機械器具、重化学などの開発を目論む工業開発計画です。これによって現在の工業生産額十四億円は一躍七千―八千億円になる予定で、岡山県は全国有数の工業県として県民の経済生活も大巾に向上することとなっています。

この計画に伴って、交通道路の整備、住宅建設、土地造成、工場用水の開発電力導入、労働力の確保、教育社会施設の充実へなど幾多の問題が横たはっています。そこで、これらの問題を強力にしかも短時間の間に解決するには、どうしても強力な弾力性ある行政力が必要となって来ます。ここに南部の七市（岡山、倉敷、西大寺、玉野、児島、玉島、総社）ほか二十六町村を打って一丸とする広域百万都市（昭和四十二年の推定人口百六十万）を建設する根拠があり、県が明年一月その実現を目標として強力に推進している理由です。（ただし時期尚早論が強い）津山を中心とする作北は何等の関係ないものとして、この動きを無視してよいものでしょうか。事実は、そうではありません。

南部の開発計画と共に
作北も開発される（県説明）

ともかく、このような大計画が着々と進捗しているのに（その実現や今後の成行は別として）作北の地や津山では全く放任されていては同じ県民としては黙視出来ません。この点、県のそれぞれの説明を聴いて見ました。「県勢振興計画はたしかに県南の工業開発がポイントとなっており、その当然の過程として百万都市建設の問題もあるが、決して県北を放任しているわけではない。同じ計画によると県北は労働力の供給地、食料の供給地、副次的な中小企業団地としての役割を与えられて、それぞれ開発育成されることになっており、また、農業の振興、農村の体質改善を促進し、全体として県北の経済生長も十分に考慮されている。例えば、美作台地の開発、作州における果樹酪農の振興、津山市、勝央町、久米町の低開発地域工業開発地区指定などがそれぞれである」とのことでした。その説明の通りだとしても率直に言って南部へ施策の重点がおかれていることは疑い得ません

しかし、漫然としている訳にはゆきません。あくまで作北の発展のため、積極的な協力体制をうちたて、その機会をとらへることが必要なことは申し述べるまでもありません。

―低開発地域工業開発地区―

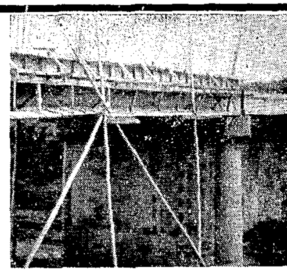
津山市、勝央町、久米町がこのほど低開発地域工業開発地区に指定されましたが、これは、工業的経済的な後進地区のうち開発を必要とする地区を地方産業開発審議会の諮問を経て総理大臣が指定して開発に必要な措置をすることを決めている地方開発地域工業開発促進法によるもので、現在全国で七十一地区が指定されています。指定地区に進出する企業には税法上の特典があるほか、開発のため必要な特別な配慮がなされます。

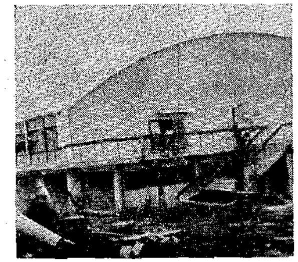
独自の対策も必要だ

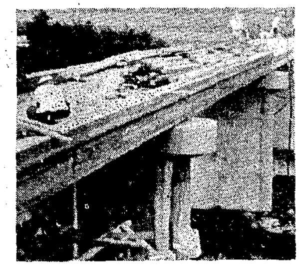
もちろん津山市を中心とする作北は地理的条件その他の理由で、南部と同じレベルの開発計画は不可能です。と言って、その後進性をいつまでも続ける訳にもゆかないとなると、いま現に計画されている農業開発中小企業開発などの効果を十二分に発揮することでなければなりません。それには、強力な協力体制のもとに、現在の各種の計画を推進するとともに、作北の特殊事情に即した新らしい綜合計画、開発計画を樹立しこの点にも県の行政重点を注がせることでしょう。

では具体的に

では、県南に対して、作北―津山地方はどのような構想をもって、立遅れないようにしなければならぬでしょうか。先づ、道路交通網の整備ですが、それは例の中国縦貫の高速度道路のほか、南部地帯へ直接連絡する数条のハイウェイを必要とするでしょう。次に、多種の農業関係の改善と併行して、低開発地域の特殊性を生かして綜合的経済開発の強力な推進も考えられます。また、南部の背後地としての役割を果すべき食料供給地、居住地、文化厚生施設確保地としての役割を担はねばなりません。こうして、南部との関連において作北としての立場を生かしながらその生産開発と経済建設を推進しなければならないでしょう。







【右上】日上―小桁間には橋梁がなく、農地耕作するにも不便をかこっていましたが、いま渇水期に工事が急がれています。

☆

【左上】沼住居跡に通ずる道路は狭隘で早急にその整備の必要にせまられていましたが、その一つである橋梁の建設に着手しました。

☆

【右下】国体秋季大会の男子機械体操の練習会場になる津山高校屋体はいま急ピッチで工事が進められています。

☆

【左下】昨年集中豪雨により流失していた、一方の新土手橋は、秋の収穫を前に工事を急いでいます。

市民の声

作北の存在を主張せよ

「県南の工業開発」は水島を中心に強力に推進されまた岡山・倉敷を初めとする「広域都市つくり」が着々と日程に上っているとき「津山を中心とする作北」があらゆる段階において立遅れの感が深く、いはゆる「南厚北薄」はいよいよ甚だしい。この間の事情をもっとアッピールして、市民地方民の地方政治に対する自覚をうながし、いろいろな意味における作北の立遅れを取戻すべき弾力性ある強固な地方政治のルートを確立すべきではないかと思う。それには、種々のことが考えられるが、差当っては先づ作北の市町村がもっとお互に緊密に連絡し合い小さな利害関係から起る割拠主義やセクショナリズムを棄て、より大局的見地に立って、作北の発展のために協力すべきではなかろうか。例へば各種の行政協議会なども県をうって一丸とするものも決して無用ではないが、より必要なのは、津山を中心とする作北のそれではなかろうか。そうしたところに初めて、作北を中心とし、作北を視野においた立場が培われて来るのではなかろうか。意識的ではないであろうが、県全体とか全県的立場とか言うさいは、どう言うものか、重点は県南に集中されてしまう傾向が多い。こうした意味からしても、もっと作北の市町村（その中心は市町村長や地方議員である）は手を握り、意見を通じ合い作北の厳たる存在を県全体の行政に反映し、その立場を強く主張するようお願いする。

【一地方議員】

悲しむべき現実

多くの人々の善意による山下児童公園内の「小便小僧」が再三心なき人の手によって壊されたことは、市民の一人として全く恥かしく思います。この「悲しむべき現実」に対して、私たちは、いまさらのように「一部市民の公徳心」の欠除に強い噴りを感じます。しかしいたずらに悲しんだり噴ったりばかりしてはおられません。どうしたら市民のなかからこんな不心得者をなくするかと言うことが肝要です。どうしたらよいのでしょう。いろいろ抽象的には言われますが、具体的には分りません。ただ市民の全部が真剣にこの問題を考えこうしたことを絶滅するよう協力していただくことをお願いするばかりです。

【山下一主婦】

くわえ煙草の応待

市役所だけではありません。市内のどこの官公庁へ行っても、窓口などで係員の方がくわえ煙草で応待されるのはよい感じではありません。そんなことのないよう指導されている向もあると聞きますが徹底していません。「公務員」だから「いけない」と言うような意味ではありません。常識ある社会人のエチケットとしてこの程度のことは心得ていただきたいものです。

【商店主】

ハイカーへお願い

秋の行楽シーズンを迎えて、ピクニックやハイキングを楽しむ人が多いことは結構なことですが、ここに注意していただきたいことは、決して野山や畑を荒さぬようにして楽しんでくださることです。野山の木を折りとったり、下草を踏みつけたりする人が案外多いのに困ります。ひどいのは栗や柿をむしり取る人もあります。大きな悪意があってのことではないでしょうが所有主としては怒りが込みあげます。いずれにせよ自然を愛することを心がけましょう。（一百姓から）

（特報）

岡山県の高専誘致期成会では、このほどその候補地を津山市内にしぼり、その実現をはかることを決定しました。誘致運動が効を奏した訳ですがその明年四月の開校までにはまだまだ用地問題、その他いろいろな難関があります。市民の皆さんの一そうの御協力をお願いします。

私たちの市役所

7月31日　電気ガス税の非課税打合会について神田税務課長岡山へ出張。

8月10日　し尿消化槽国庫補助申請審査会出席のため籾山衛生課長東京へ出張。

7日　上河原道路舗装工事打合のため橋本建設課長岡山へ出張。

9日　県下市長会担当課長会議に出席のため津高総務課長岡山へ出張。姫新線改善に伴なう利用償引受けについて米井商工課長新見へ出張。

市議会日誌

7月30日　第5回陰陽四国連絡協議会出席のため山形議長、谷口副議長岡山へ出張。

8月2日　豊岡市議会議員水道事業について視察。

6日　厚生水道委員会。

16日　厚生水道委員会。

20日　工専誘致について市会議員県庁に陳情。

21日　町村美作振興会議に出席のため山形議長美作町に出張。

あと五十日あまりで開幕

準備はこれでよいですか　心構えはできていますか

【上】市民運動部は二百五十名の婦人協議会代表の勤労奉仕により24日早朝から佐良山地内の国道沿線と行啓道路、お城山附近、津山工業高校グラウンド附近などに秋の国体に咲せようと草花の苗を移植しました。【下】国体蹴球出場選手をきめる県予選が、去る18日から20日までの三日間、津山市営、津山高校、西中の三グラウンドを会場に、一般の部八、高校の部十五チームが県代表を目指して熱戦をくりひろげました。その結果、一般の部ではジョリーキッカーズが新三菱水島を三―〇で、高校の部は久世高が勝山高校を二―一で破って晴の県代表に決定した。

第十七回国民体育大会（岡山国体）の夏の大会は今九月十六日から開かれ、県南の各会場でボート競技、ヨット競技、水泳が行なわれますが、それに引つづき国体の中心をなす秋の大会は十月二十一日から津山市内を初め県下の各会場で一せいに開幕されます。それまでには、あと五十日あまりです。会場となっている地もとはもとより県下全般を通じて国体ムードは日一日とたかまって来ておりますが、津山市でも各方面とも国体の開幕のせまるとともに、しだいに国体色が濃厚となり、全市をあげての準備と受入れの心構えが盛りあがっていますが、この「歴史をつくる国体」を完全にやりとげるには、はたして、準備はこれで大丈夫でしょうか、なにか忘れているもの、残されているものはないでしょうか。また全国から集まる二、三〇〇名をこえる大ぜいの役員選手団の方々をむかへる受入れ体制、その宿泊施設や歓迎方法、期間中のサービスの問題などでもっともっと考えたりくふうしたりすることはないでしょうか。さらに、この前例のない大きな行事である国体を通じて示され、また発揮される津山市民の気持ちは十分なのでしょうか。つまり、国体を迎える市民の心構えはもうこれで「余すところない」としてよいのでしょうか私たちはおたがいによく反省しあい、念には念をいれて「千慮の一失」というようなことのないよう心がけたいものです。国体が終ってから「ああしておけば良かった」とか「これはいけなかった」とか言っても、それは、いわゆる「あとの祭」で何の役にもたちません。五十年に一回の国体です。この点をよく考えて「悔を残さぬよう」にあらかじめ、準備万端を整え、しっかりした心構をもって、この国体を立派にやりとげその成果を飾ることに努力しましょう。

お祭り騒ぎはやめましょう

国体はその地区住民総参加の国民的行事と言われています。したがって、それは厳粛なるべきものであり整然たる秩序と雰囲気のもとに終始さるべきものであることは当然なことですが過去の他の道府県の実情によりますと、どう感ちがいしたのか、お祭り気分で国体を迎える一般人の方々が相当あるとのことです。私たちの津山市ではこんな方はないと思いますが、「サア国体だ」と言って、むやみやたらに浮かれ歩いたり馬鹿騒ぎをしたりする人がいて、却って国体の気分をこわし、他にめいわくをかける野次馬連中が以前の開催地にはあったと言われます。また、国体にこと寄せて「何ごとかたくらんだり」する不徳義漢も現われたそうです。私たちは、津山における国体の名誉のためにこんなことのないようにお互いにつつしみ、警戒しあって、明るく、正しく国体をむかえ、立派にそれを飾りたいものです。

国体は生きている

将來への発展のすがた

「歴史をつくる国体」と言われていますが、それはただ国体が歴史的な事実であると言う意味だけではありません、「国体は生きており」「国体は生かさなければならない」と言う意味においてです。国体を通じて発揮される住民のかたい協力体制明るい、しかも根強い市民運動の成果、つぎつぎの困難を打開してゆく実行力と体験多くの役員選手団をむかえて発露する友愛精神―これらは永い準備期間から終幕にいたる国体を通じて立派に生きており、また生かされなければならない貴重な遺産であり、記念物であります。したがって、国体は単なる国体でなく、これらの遺産を一つの基盤として、新らしい郷土の発展と明るい都市の建設に役立たせなければならないのです。国体を迎へるに当り、市民の皆さんも、これ等のことをよく御理解、御認識いただきたいものです。

さあ!! 国体だ

市民運動を徹底的に　ご協力をお願いします

国体は県や市または主催者の競技団体や実行委員会事務局などだけで立派に完遂することは出来ません。どうしても町内会、婦人会青年団体など地域団体を初め、あらゆる団体の協力のほか、一般の地区住民の強力な協力と支持を得なければなりません。ことに地区住民の国体に対する深い理解と認識がなければ、せっかくの国体も形式的おざなりなものとなり、心のこもった立派なものとすることは出来ません。国体そのものの意義からしても、このことは明瞭です。そこで市実行委員会では市民総参加の市民運動を提称し

◇花いっぱい運動
◇体育リクリエーション運動
◇みんなでうたおう運動
◇清掃美化運動
◇親切運動
◇事故をなくする運動

の六つの実践項目を柱として、国体を盛りあげるバックボーンとして力強く展開し、各方面の協力を得ていますが、国体の開幕が近づくとともに、この運動の一層の徹底を期しています。そして最後の一頑張りに、いろいろとこの運動の効果を発揮すべき計画をたてています。市民のみなさんの自発的な御協力をお願いし期待しておりますが、もちろん、この運動は、国体が終ったからとて、それでよいと言った性質のものではありません。このよき慣行を継続的に花を咲かせ実のらせて、明るい立派な津山の将来の建設と発展に役立たせましょう。

国体募金について

国体募金につきましてはその趣旨や事情について、各方面とも深い御理解をいただきまして、つぎつぎと集まっております。御寄付いただきました方々、募金にあたられました町内会、婦人会の方々などの皆さまに心から感謝してお礼を申しあげますとともに、目標額達成まで、いま一般の御協力方と御援助方とを特にお願いいたします。

夏の国体の選手　津山市の関係

このほど十六日からの国体夏季大会の岡山県の役員と選手団が決りました。津山市の関係分は次の通りですが、全部水泳選手です健闘を祈りましょう。

▼高校男子選手　八百米リレー　木原隆男（津工）三百米背泳（津工）二百米バタフライ　杉本秀秋、竹島雅明（ともに津工）
▼教員選手　二百米平泳　来山幸雄(津高)
▼青年選手　二百米平泳　山崎明彦(津山市)
▼一般女子、高校女子監督　乙倉妙子（美作高）
▼高校女子選手　百米　福井啓子、赤松富貴江（ともに美作高）二百米平泳　井上泉（美作高）百米バタフライ　岡田晴美（美作高）

お知らせ

秋の国体は十月二十一日から開幕されますが、この国体の会場案内、競技日程その他国体についてのいろいろなことをくわしくお知らせする特集号を臨時号として十月上旬ごろ発行して各家庭にお届けします。

電話料金制度9月30日（予定）から改正

現在の電話料金制度は交換手のつなぐ電話をもとにして作った明治以来のものです。ところが現在のように約70％の電話が自動式になり、市外通話のダイヤル化もどんどん進んで全国約四百万の加入者を自由に選び、いつでも待たずに通話が出来る「市外通話の全国ダイヤル化」のためには。通話の相手を自由に選んだり料金を自動的に計算したりしなければなりません。しかし現在の機械設備では百キロメートルぐらいの近距離通話までしか計算できません。また最近のように交通が著しく発達しますと、市内通話と市外通話の堺となる地域では道一つへだてているだけで料金に大きな差がつくという不合理なことがおきてきます。これは市内市外の二本立料金制度からくる矛盾でもっと合理的なものに改善する必要があります。そこで現在の市外通話は3分ごとにいくらという計算ですが、改正後のダイヤル市外通話は市内通話一回分の料金と同じ7円を単位として計算されることになります。これは7円で通話出来る時間に差をつけ通話先との距離が遠くなるにしたがって7円で通話できる時間が短くなるという計算方法です。この方法ですと、これまでのように通話3分間という時間を気にすることなく実際に話した時間だけ料金がかかるという合理的な方法です。また交換手のつなぐ市外通話や赤電話からの市外通話は始めの3分までを基本通話料として3分を超えた分については一分までごとに基本通話料の1―3づつの料金がかかることになり、いままでのように4分や5分かけても6分（2通話）分の料金を払わなくてもよいことになります。しかし青電話からは従来どおりです。このよな新電話料金制度は市外通話のダイヤル化を全国的にひろめ利用者の皆さんにますます便利な電話とするためのものです。

（津山電報電話局）

津山市清掃センター完成

市民生活の向上にともなって年年増加するゴミと老朽化して焼却能力が低下する処理施設を整備するため旧焼却場側に本年三月一日処理能力15屯の逆送式自動じん芥焼却炉を工費約千三百万円で建設、これにより特別清掃地域内人口約四万五千人が一日に排出するごみの量27屯のうち七台の清掃車により毎日17～20屯のごみが収集されておりますが、従来の旧炉と合せて一日30屯の処理能力を有することになり、今後特別の事情のない限り十年程度はごみの完全処理が出来ることになります。これに引続いて八月工費約二百七十万円で事務室、現場作業員詰所などを建設、県内他都市にさきがけて、従来各所に分散した現場事務所を一カ所に集約し、多数の人員と機械施設によって運営される事務は清掃係をここに移し、近代的な明るい清掃事業の円滑な推進を期したものです。なお従来、衛生課清掃係で取扱っておりましたごみの収集、し尿の汲取りなどの申込は清掃センター（三六一七番）に電話してください。

巡回農地相談所を開設

農地等を売買しようとする場合とか、農地を宅地に変更しようとする場合、小作地の引上げをしようとする場合など、このところ農地等をめぐりいろいろな問題がおきて、悩みの種となっている農家も少なくありません。これらは農地法の内容をよく知らないために問題をおこしたり法律に違反するようなことをしている場合があります。そこで県農地開拓課では、九月七日午前十時から津山市役所で巡回農地相談所を開設して、こうした農地問題について農家の相談相手となるとともに農地の趣旨をよく理解してもらうことにしました。農地問題で困っておられる方はこの機会に御利用ください。

15日は老人の日

老人を敬いましょう

九月十五日「は老人の日」ですこの日津山市では満八十才以上の人、約八百名にタオルを、また本年八十八才になられた方に老人杖（三木知事寄贈）をおくってお祝いすることになっております。また十五・十六・十七日の三日間昼夜二回に分けて津山劇場において六十五才以上八十才までの方には割引入場券を八十一才以上の方には招待券を差上げて、少女歌劇を観賞していただく予定にしております。なお市内で最年長者の方は中之町二九、西村あいさん（元治元年九月八日生、九七才）です。

有難うさま

文化会館建設募金に毎度ご協力ありがとうございます寄付金は町内会、団体、法人、個人など理解ある市民のみなさん方のご協力によりその後も相継いで寄託していただいております。

今回、事務局に受け入れたものを公表してお礼申し上げます。（敬称略）

寄付者芳名	今回受入額（円）
椿高下東　木村もと子	2,000
南新座　新家　亘	500
林田町　福田好道	200
小畑証券株式会社津山営業所	10,000
熱田自転車商会	500
津山ライオンズクラブ	1,000
市立中学校長会代表辰野徳夫	1,080
椿高下西町内会	13,000
吉見町内会	10,750
津山口上町内会	15,000
林田町町内会	3,295
西八出町内会	20,047
市議会議員一同　山形治郎外28名	2,900
市三役および教育長	1,350
預金利子	72,195

合　計（7月28日～8月23日）153,817円

建設基金累計（8月23日現在）42,222,550円

ときわ園便り

相当厳しい暑さが続きましたけれども、養老院の老人はお蔭で元気に夏を越しました。既報に続き次のようなかずかずの慰問を頂きましたことを深く御礼申しあげます。

◇金500円　河原町　有重いと◇アイスキャンデー 60個　茅町　津山冷菓KK◇扇風機1個　山陽新聞事業団◇歌、おどり及びせんべい2罐　東横山一区　仲よし子供会◇金150円　横山332　頃安節代◇果物3籠　久米郡吉岡中学校 三年　青葉会◇金100円　匿名の方◇金1,000円　匿名の方　　以　上